



電源ハーネス キット

Groundsmaster® 3200 および 3300 シリーズトラクションユニット

モデル番号 140-1559

取り付け要領

取り付け

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. アタッチメントを降下させる。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。

2

バッテリーの接続を外す

必要なパーツはありません。

バッテリーケーブルを外す

警告

バッテリーの端子に金属製品や車体の金属部分が触れるとショートを起こして火花が発生する。

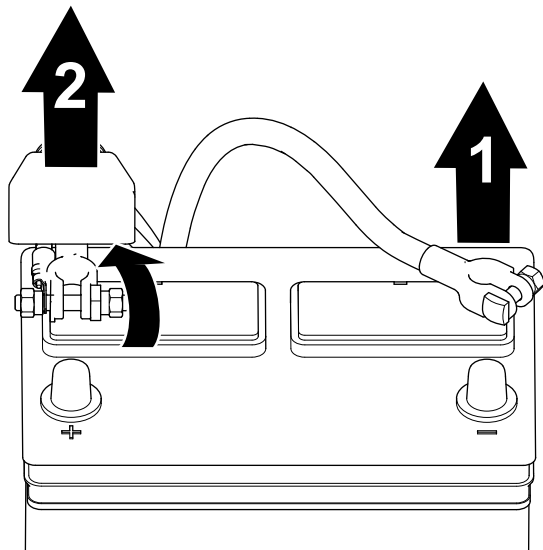
- バッテリーの取り外しや取り付けを行うときは、端子と金属を接触させないように注意する。
- バッテリーの端子と金属を接触させない。

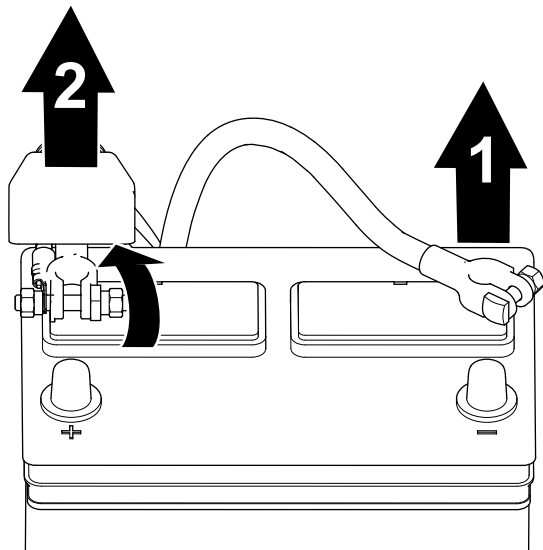
警告

配線から出た火花で水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

バッテリーケーブルの配設が不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生し、ケーブルやマシンを損傷する可能性がある。

- ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルを先に取り外し、その後にプラス赤ケーブルを外すこと。
- ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。

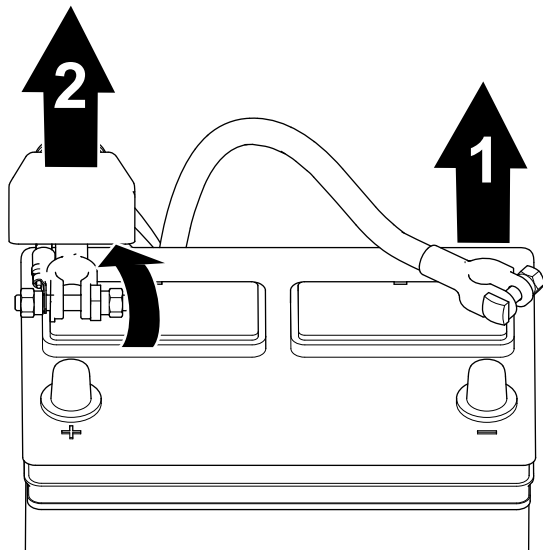
1. バッテリー端子から、マイナスケーブルを外す 。



g252591

図 1

1. マイナスケーブル
2. プラスケーブル

2. バッテリーのプラスケーブルについている絶縁カバーを外して、プラスケーブルをバッテリーから外す 。



3

電源ハーネスを配設する

この作業に必要なパーツ

1	電源ハーネス
6	ケーブルタイ
1	リレー
1	ヒューズ10 A

手順

重要 ハーネスが鋭利な部分や可動部分に接触しないように配設し、必要に応じてケーブルタイで固定する。

1. フードのラッチを外してフードを開ける。

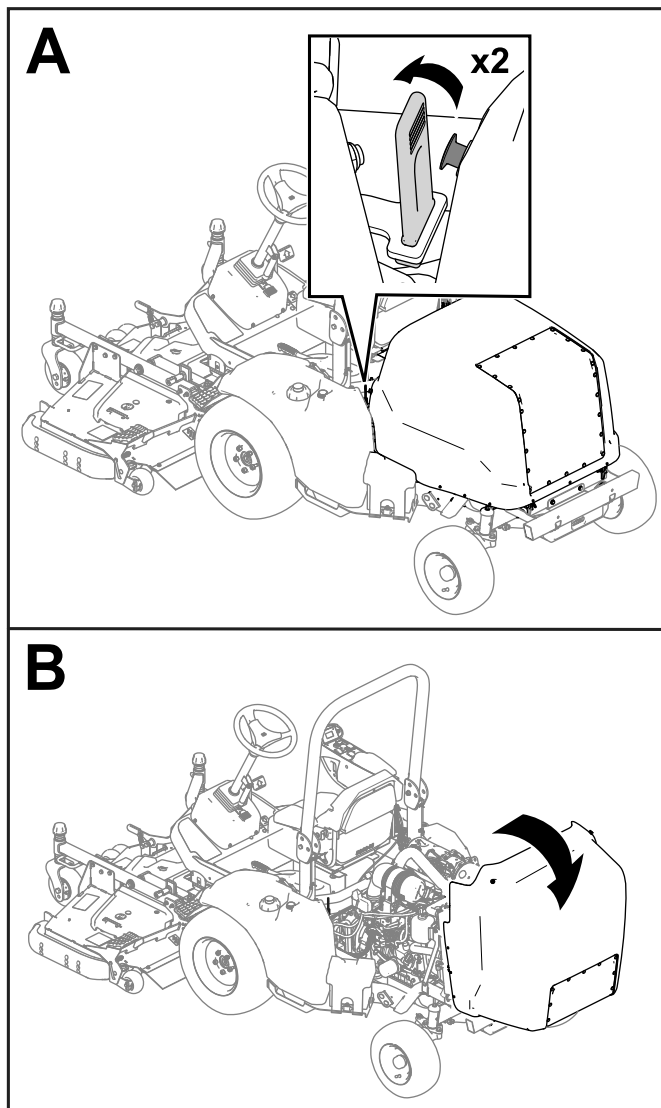
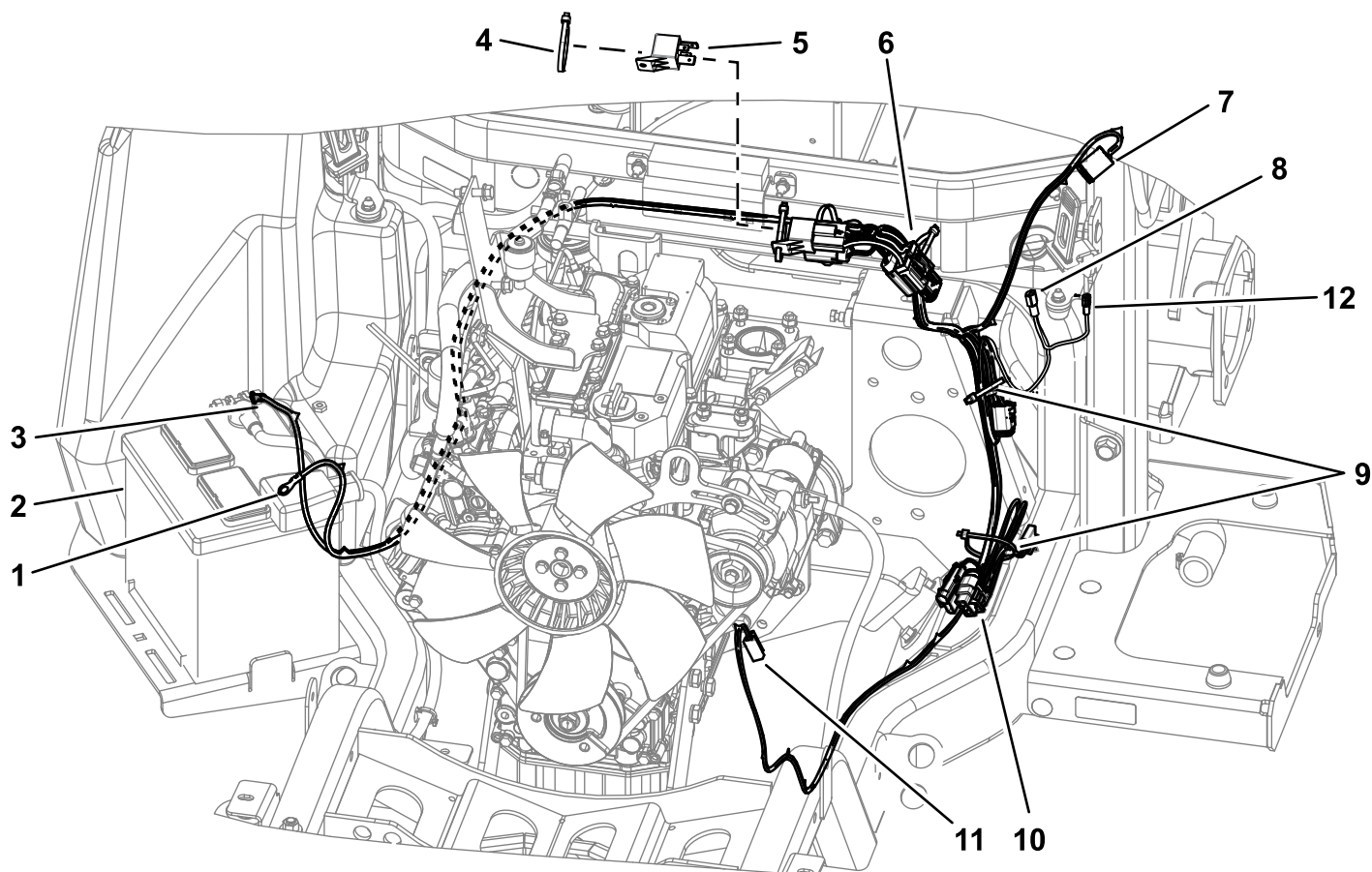


図 2

g285428

2. 電源ハーネスにリレーを取り付ける [図 3](#)。
3. バッテリー用のリング端子 2 個をエンジンを迂回して配設する [図 3](#)。



g398735

図 3

- | | | | |
|-------------|-----------|-----------------------------|----------------------------|
| 1. プラスコネクタ | 4. ケーブルタイ | 7. オプションの制御接続 | 10. アクセサリ電源用のコネクタ |
| 2. バッテリー | 5. リレー | 8. メインハーネスの接続 | 11. オプションのウインドウォッシャー液のコネクタ |
| 3. マイナスコネクタ | 6. ヒューズ | 9. 電線が長すぎる場合はケーブルタイを使って束ねる。 | 12. 補助電源コネクタ |

4. 図 3 のように、ハーネスをコネクタの位置まで配設する。
5. 電源ハーネスを機体に固定するケーブルタイを使用して図 3 のように固定する。

6. アームレストのサイドカバーのラッチを回してサイドカバーを外す 図 4。

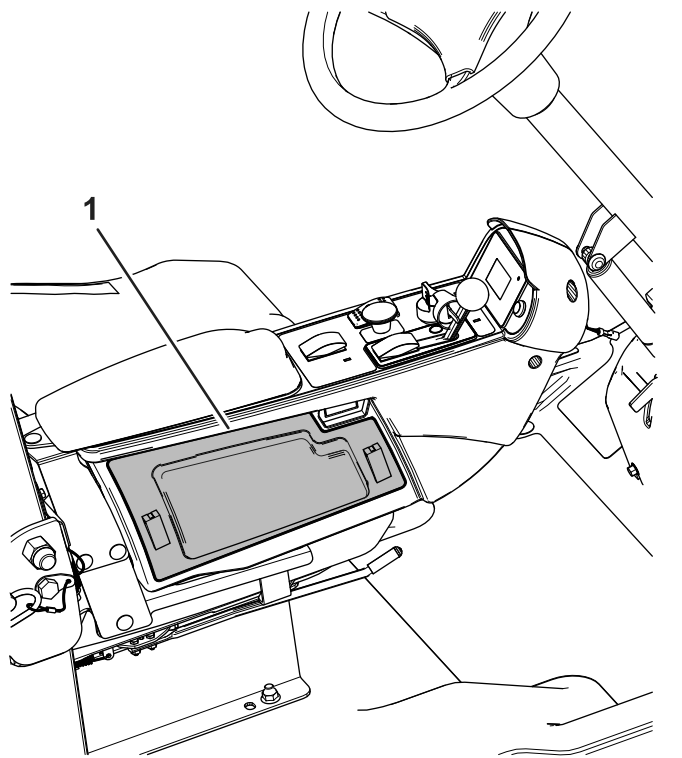


図 4

1. カバー

7. 図 5 のように、ヒューズブロックに 10 A ヒューズを取り付ける。

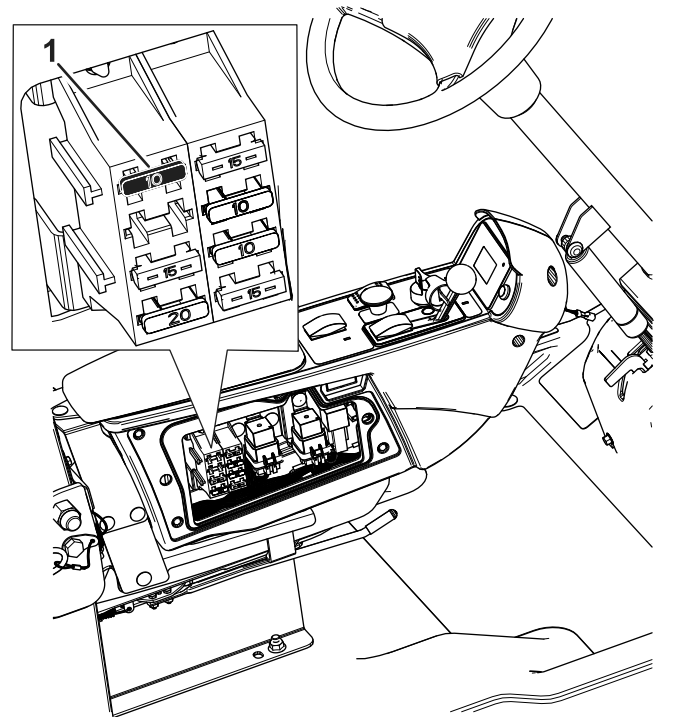


図 5

1. 10 A ヒューズを取り付けた状態

8. カバーを元通りに取り付けてラッチで固定する。

4

バッテリーを接続する

必要なパーツはありません。

手順

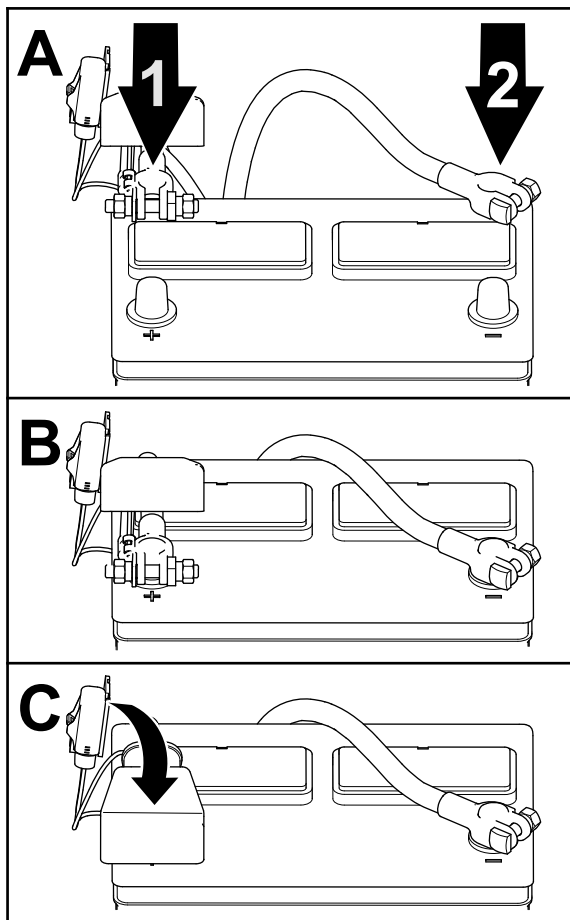
⚠ 警告

配線から出た火花で水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

バッテリーケーブルの配設が不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生し、ケーブルやマシンを損傷する可能性がある。

- ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルを先に取り外し、その後にプラス赤ケーブルを外すこと。
- ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。

1. プラス+ケーブルをバッテリーに接続し、クランプナットで接続する 図 6。



g252786

図 6

1. プラスケーブル
 2. マイナスケーブル
-
2. マイナスケーブルをバッテリーに接続し、クランプナットで接続する 図 6。
 3. バッテリーのプラス端子に絶縁カバーを取り付ける 図 6。

メモ

メモ



Count on it.